

【参考資料】

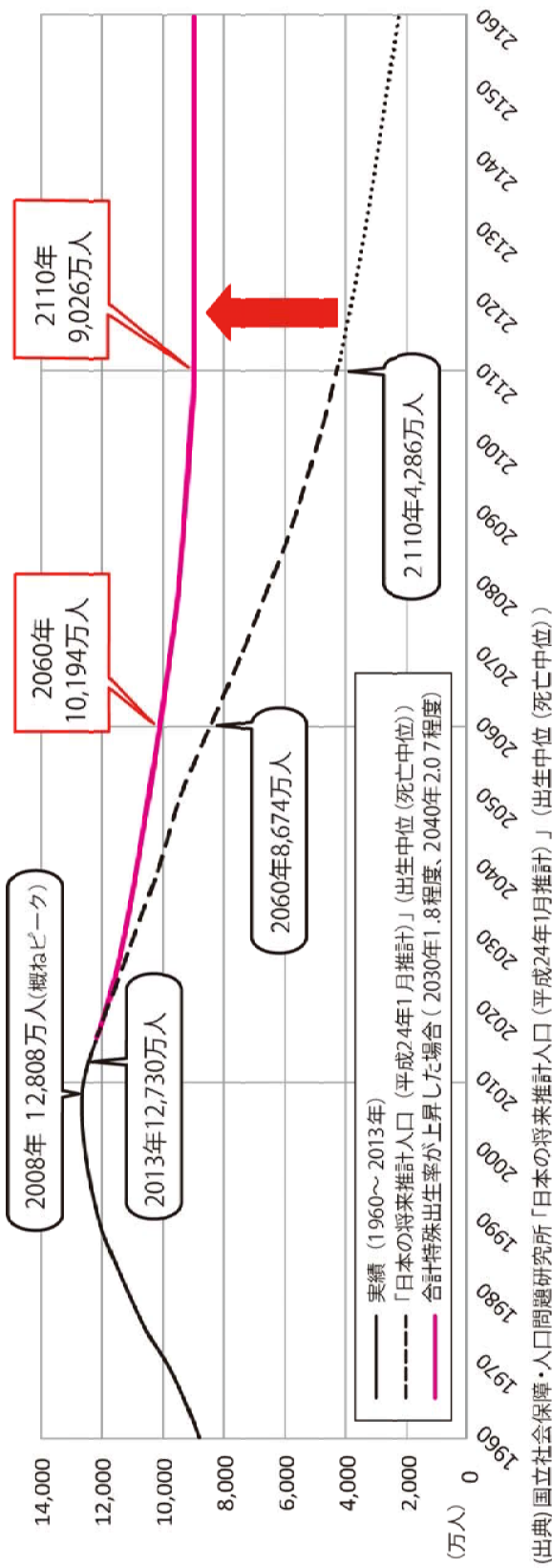
函館市基本構想（素案） 関連各種統計資料

# 目 次

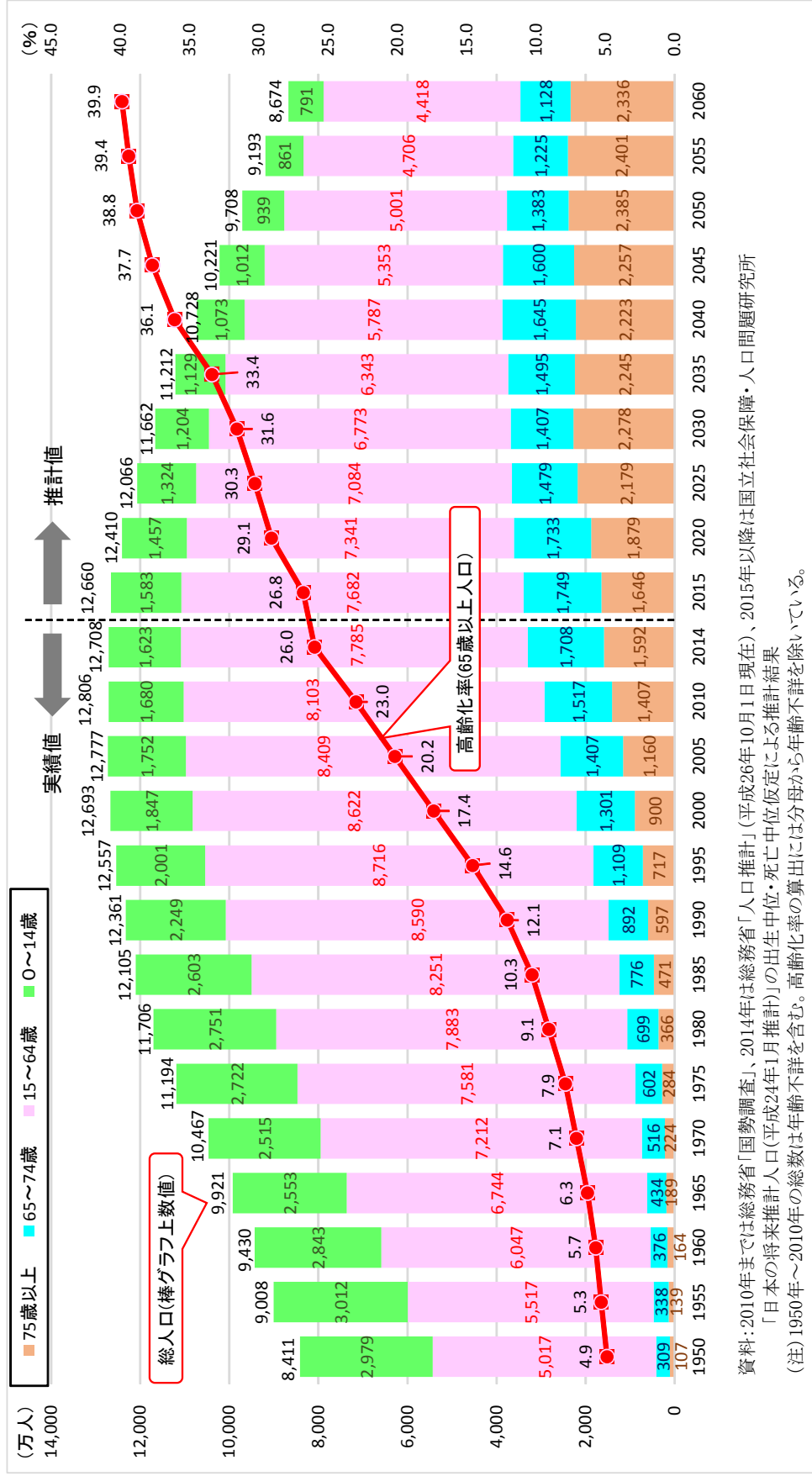
【図1：日本の人口の推移と長期的な見通し】	1
【図2：高齢化の推移と将来推計】	2
【図3：函館市の総人口および年齢3区分別人口の推移】	3
【図4：計画期間における人口の将来推計】	4
【図5：男女別年齢階級別人口】	5
【図6：函館市観光入込客数推計の推移】	6
【図7：農業就業者数および経営耕地面積の推移】	6
【図8：年度別漁獲量の推移】	7
【図9：漁業就業者数の推移】	7
【図10：小売業の商店数，従業員数，商品販売額の推移】	8
【図11：卸売業の商店数，従業員数，商品販売額の推移】	8
【図12：製造業の事業所数，従業員数，製造品出荷額の推移】	9
【図13：要介護（要支援）認定者数の推移】	9
【図14：身体障害者手帳交付者数の推移】	10
【図15：療育手帳交付者数の推移】	10
【図16：精神障害者保健福祉手帳交付者数の推移】	11
【図17：出生数と死亡数の推移】	11
【図18：合計特殊出生率の推移】	12
【図19：年齢階級別女性の就業率の推移】	12
【図20：保育所・幼稚園等入所（園）率等の推移】	13
【図21：放課後児童クラブ（学童保育所）利用者数の推移】	13
【図22：世帯数と町会加入率の推移】	14
【図23：NPO法人数の推移】	14
【図24：ボランティアセンターへの団体登録数の推移】	15
【図25：医療施設数，病床数および人口10万人あたりの率】	15
【図26：交通機関別利用者数の推移】	16

【図1：日本の人口の推移と長期的な見通し】  
 (本文2ページ (3) 人口減少社会への突入と東京一極集中による地域間格差の拡大 参考資料)

我が国の人口の推移と長期的な見通し



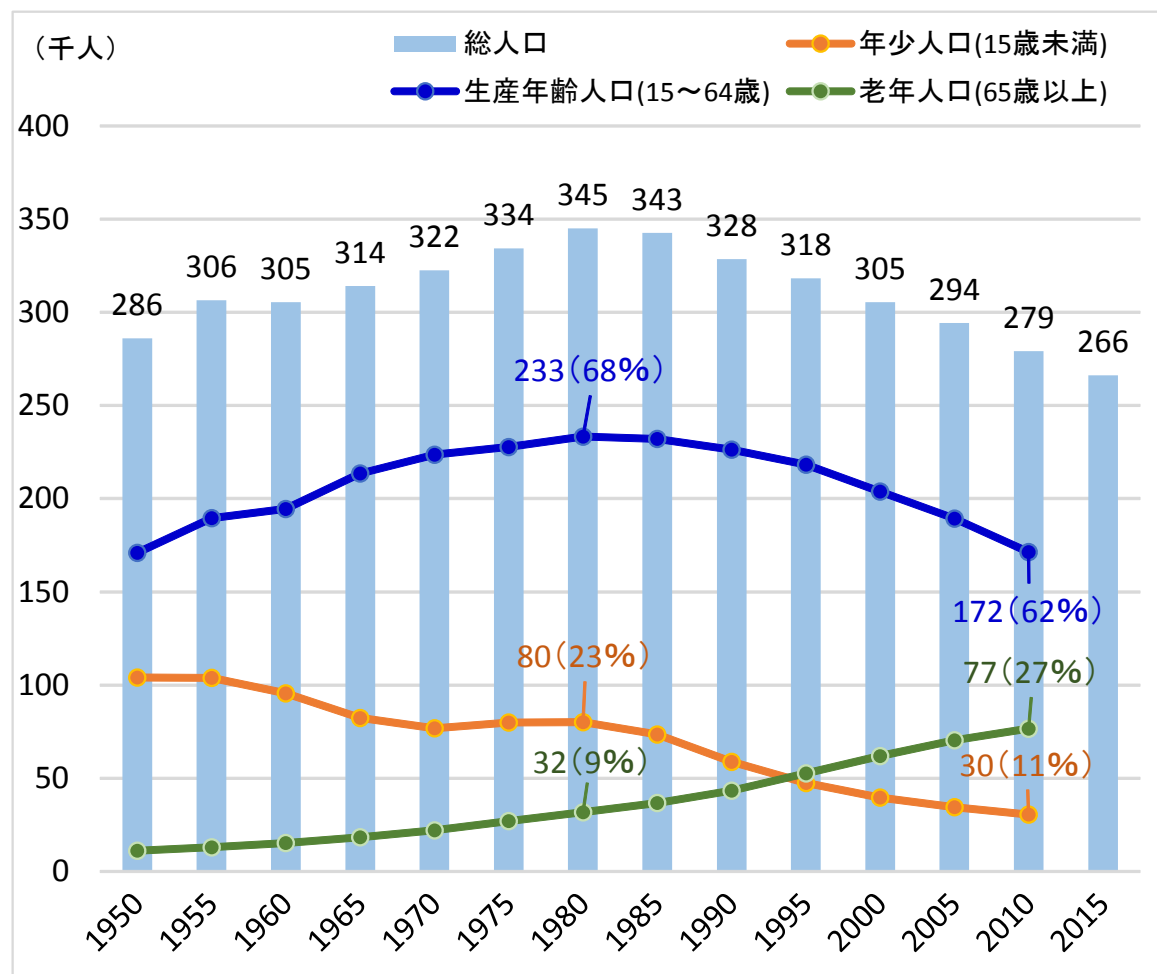
【図2：高齢化の推移と将来推計】  
 (本文2ページ (4) 超高齢社会の到来 参考資料)



資料:2010年までは総務省「国勢調査」、2014年は総務省「人口推計」(平成26年10月1日現在)、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果  
 (注)1950年~2010年の総数は年齢不詳を含む。高齢化率の算出には分母から年齢不詳を除いている。

【図3：函館市の総人口および年齢3区分別人口の推移】

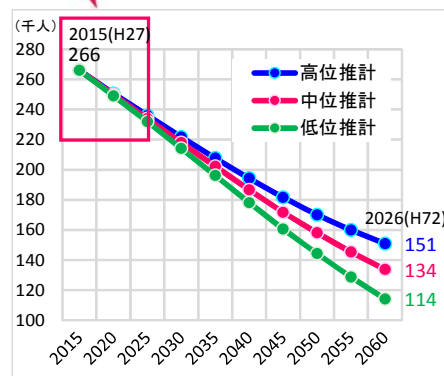
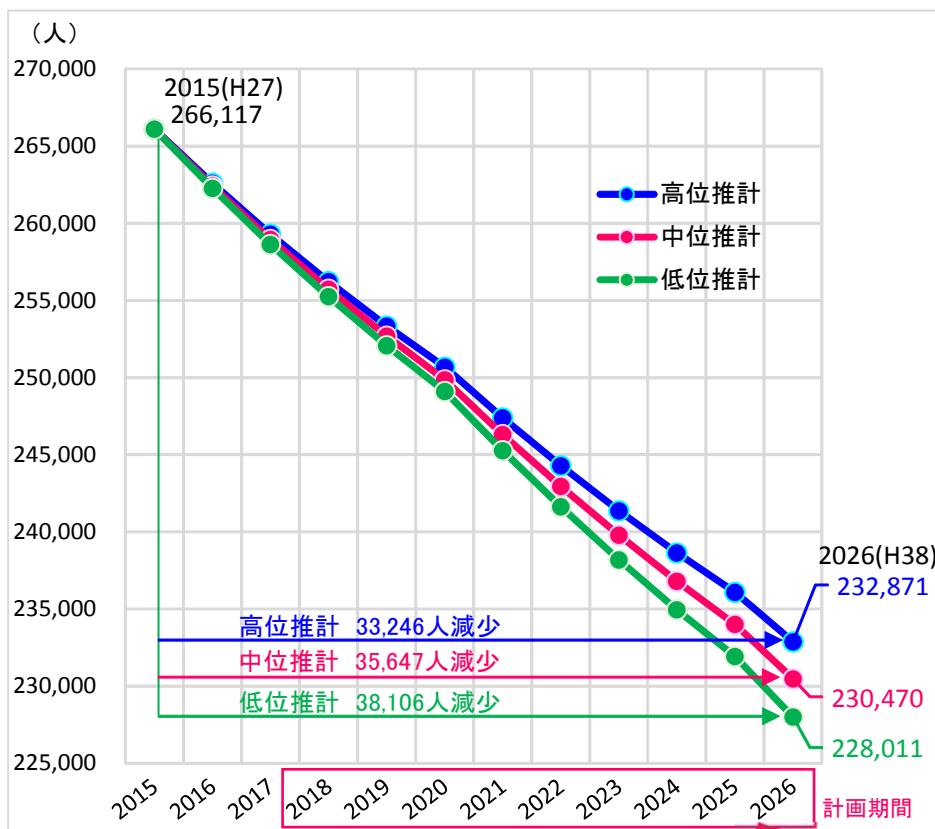
(本文3ページ (1) 人口の推移と将来推計 参考資料)



(出典：国勢調査(平成27年は速報値))

【図4：計画期間における人口の将来推計】

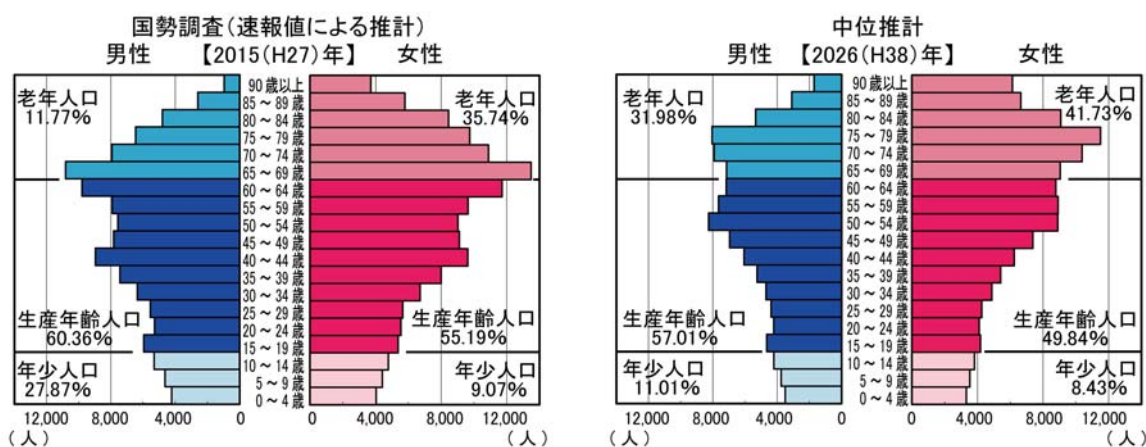
(本文3ページ(1) 人口の推移と将来推計 参考資料)



(出典：函館市人口ビジョン)

【図5：男女別年齢階級別人口】

(本文3ページ(1) 人口の推移と将来推計 参考資料)



(出典：函館市人口ビジョン，国勢調査速報値による推計)

- 低位推計  
合計特殊出生率<sup>※1</sup>，純移動率<sup>※2</sup>とも現状（2015（平成27）年の水準）のまま推移すると仮定しました。
- 中位推計  
2060（平成72）年に合計特殊出生率が，本市独自に算出した市民の希望出生率となる1.99を実現し，純移動率を1980（昭和55）年以降の実績の最高値を達成すると仮定しました。
- 高位推計  
2040（平成52）年までに中位推計の2060（平成72）年の状況を達成し，かつ2060（平成72）年までに合計特殊出生率が人口置換水準<sup>※3</sup>である2.07，純移動率のマイナスが解消すると仮定しました。（この水準を維持し続けた場合，2100年代に10万人程度でほぼ横ばい）

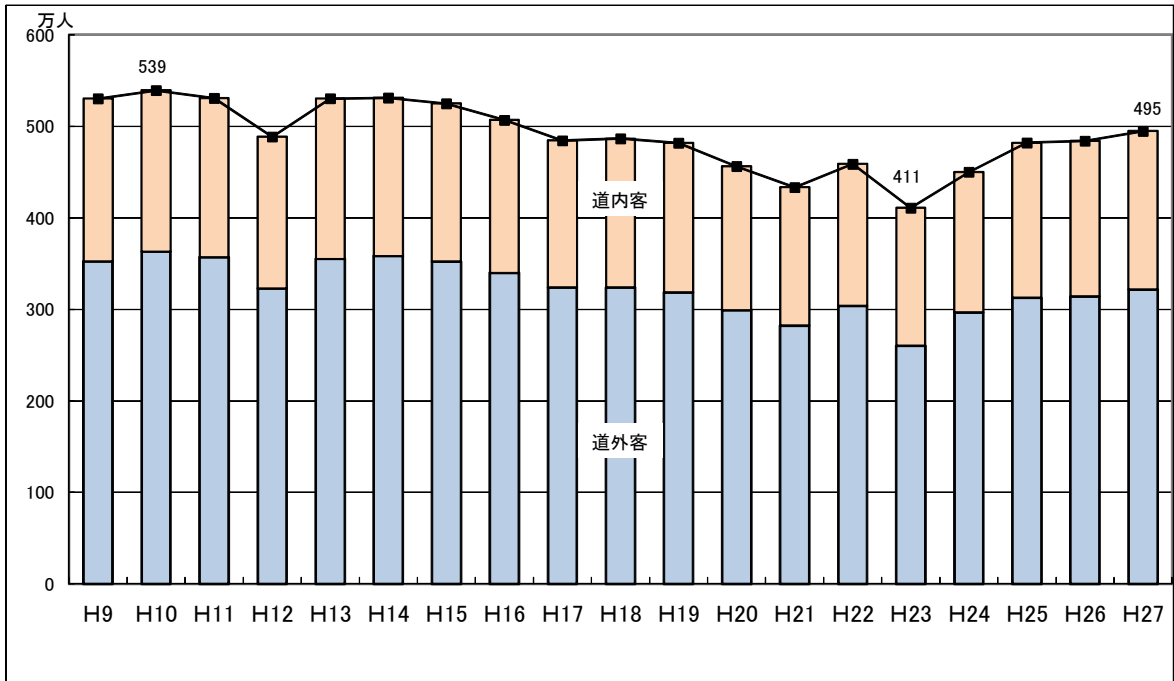
区分	高位推計	中位推計	低位推計
合計特殊出生率	2040年に1.99 (希望出生率) 2060年に2.07 (人口置換水準)	2060年に1.99 (希望出生率)	現状のまま (2015年の水準)
純移動率	2040年に過去最高値 2060年にマイナス解消	2060年に過去最高値	現状のまま (2015年の水準)

※1 合計特殊出生率：15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので，1人の女性が一生の間に産む子どもの数に相当する数値。

※2 純移動率：転出者と転入者の差を表したもので，転入者が転出者を上回ればプラス，転入者が転出者を下回るとマイナスとなる。

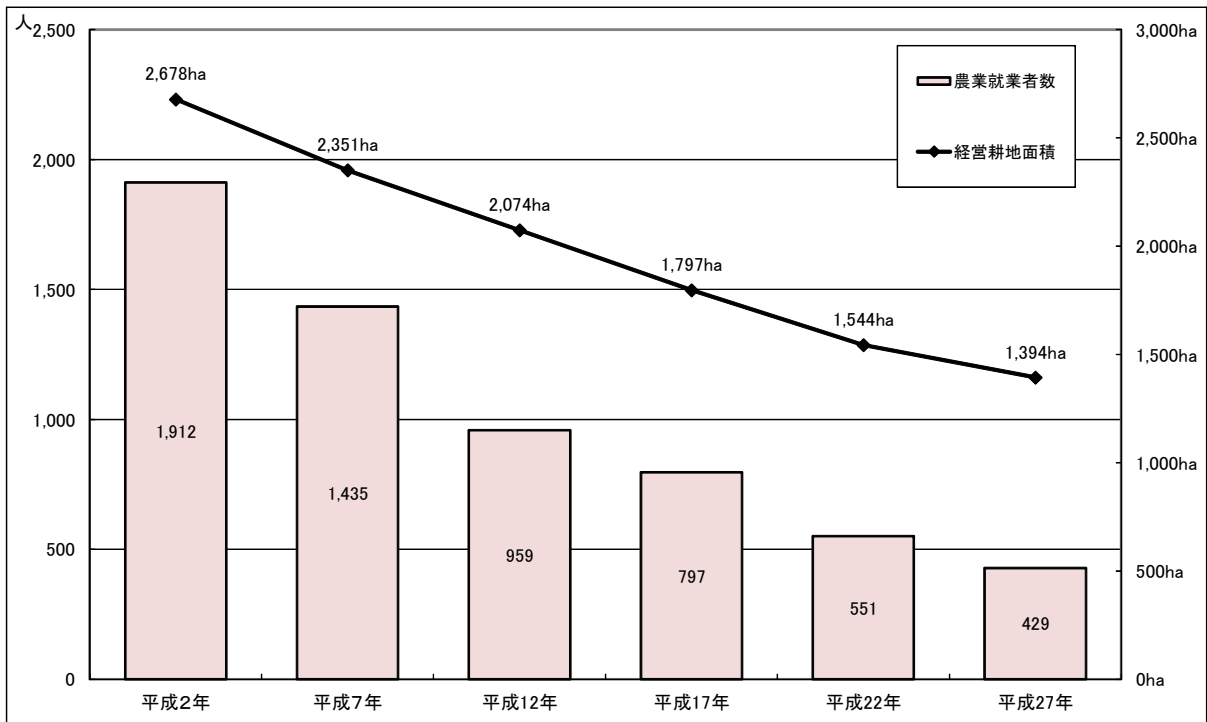
※3 人口置換水準：人口規模が長期的に維持される合計特殊出生率の水準。

【図6：函館市観光入込客数推計の推移】  
 (本文3ページ (2) 経済・産業の現状 参考資料)



(出典：函館市 来函観光入込客数推計)

【図7：農業就業者数および経営耕地面積の推移】  
 (本文3ページ (2) 経済・産業の現状 参考資料)

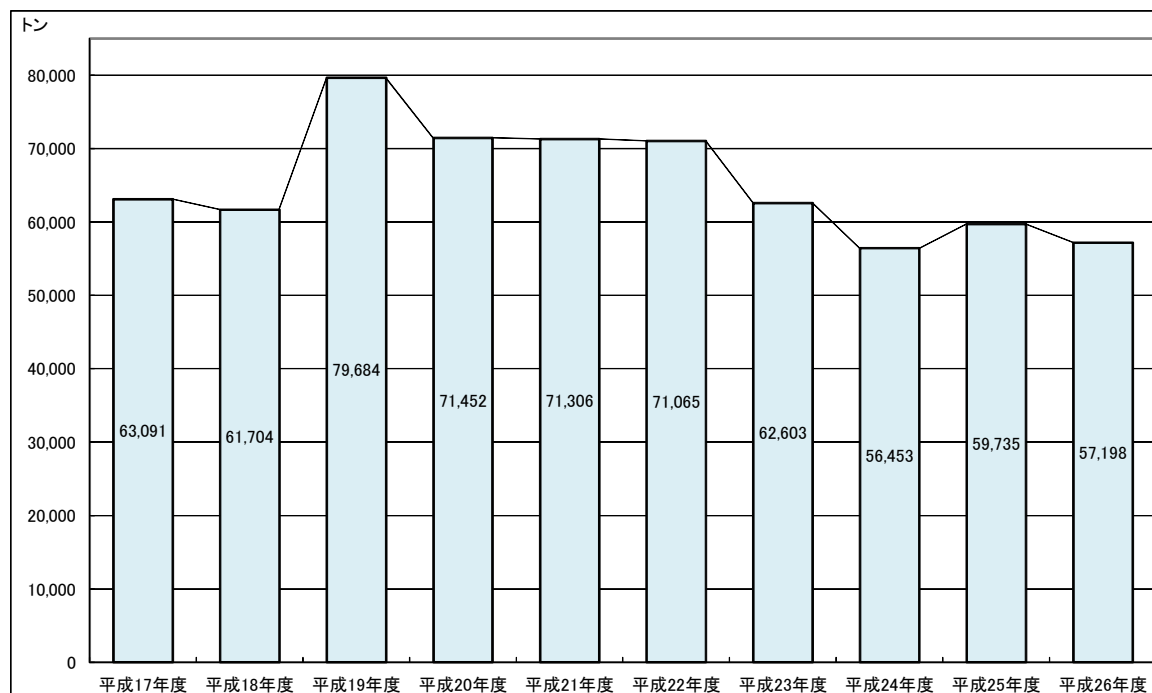


(出典：農林業センサス)



【図8：年度別漁獲量の推移】

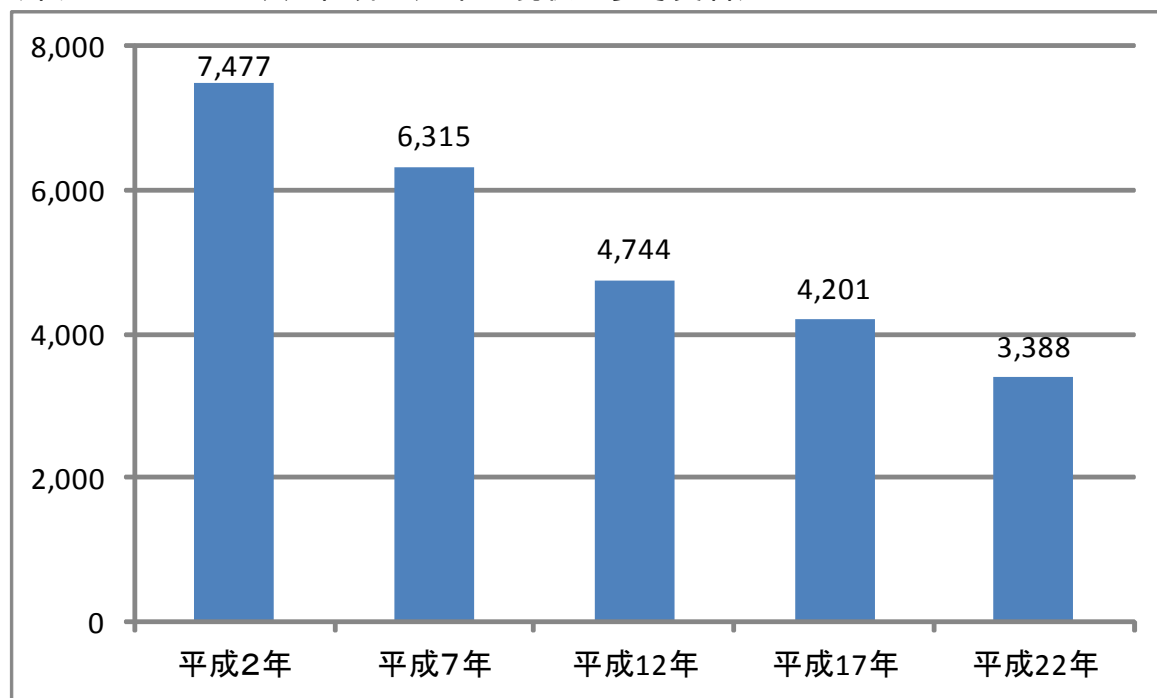
(本文3ページ (2) 経済・産業の現状 参考資料)



(出典：北海道水産現勢)

【図9：漁業就業者数の推移】

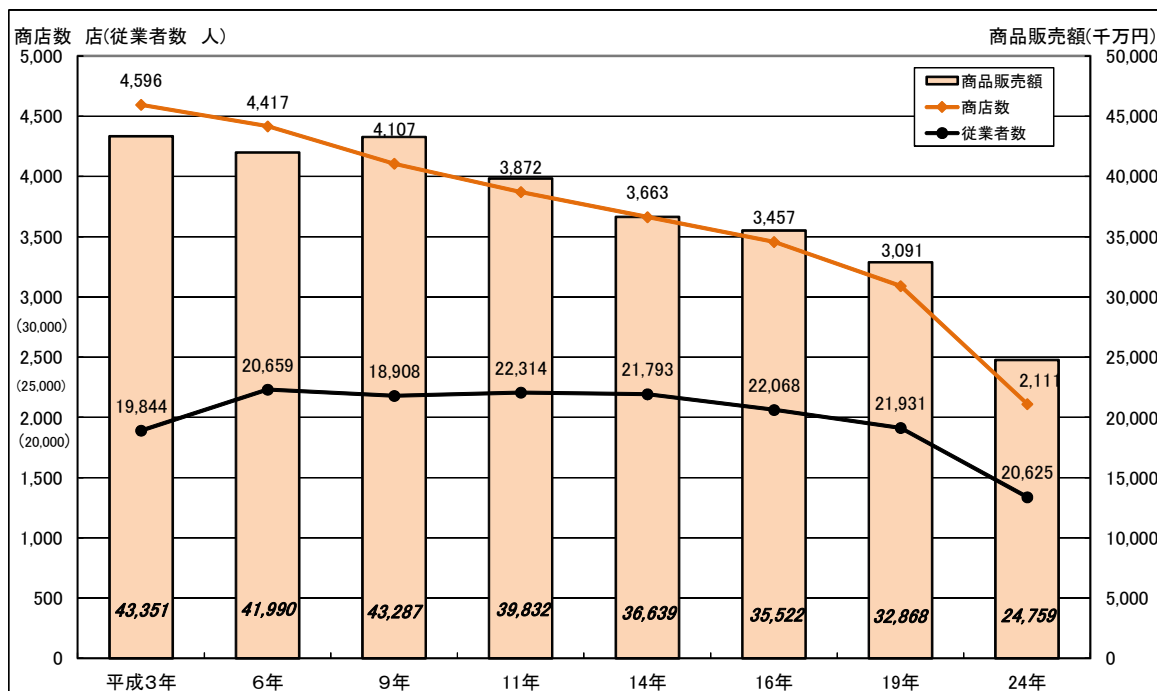
(本文3ページ (2) 経済・産業の現状 参考資料)



(出典：国勢調査)

【図10：小売業の商店数，従業員数，商品販売額の推移】

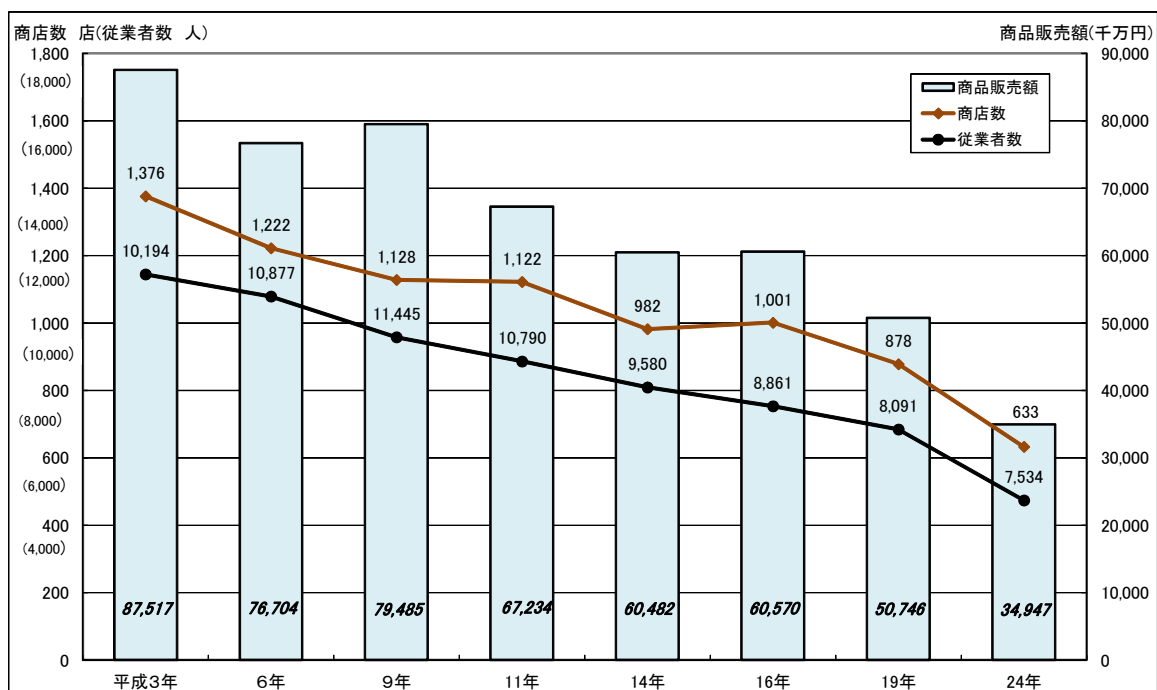
(本文3ページ (2) 経済・産業の現状 参考資料)



(出典：商業統計調査，平成24年は経済センサスー活動調査)

【図11：卸売業の商店数，従業員数，商品販売額の推移】

(本文3ページ (2) 経済・産業の現状 参考資料)

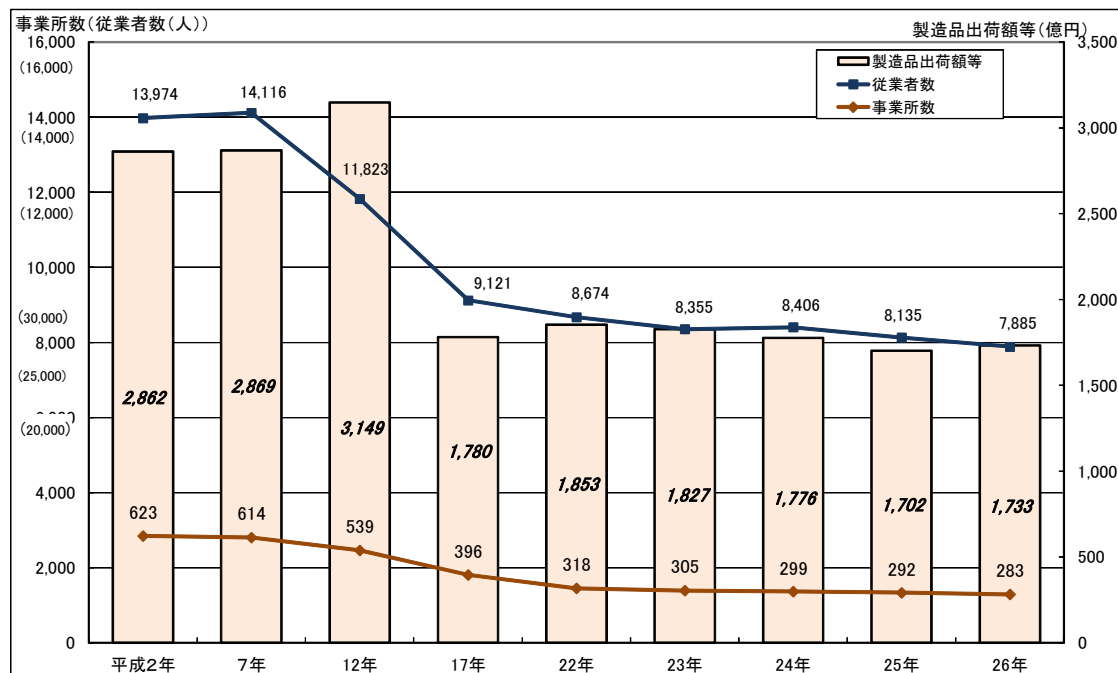


(出典：商業統計調査，平成24年は経済センサスー活動調査)

※商業統計調査と経済センサス活動調査は調査方法等が異なり，事業所数等の増減は単純に比較できない。

【図12：製造業の事業所数，従業員数，製造品出荷額の推移】

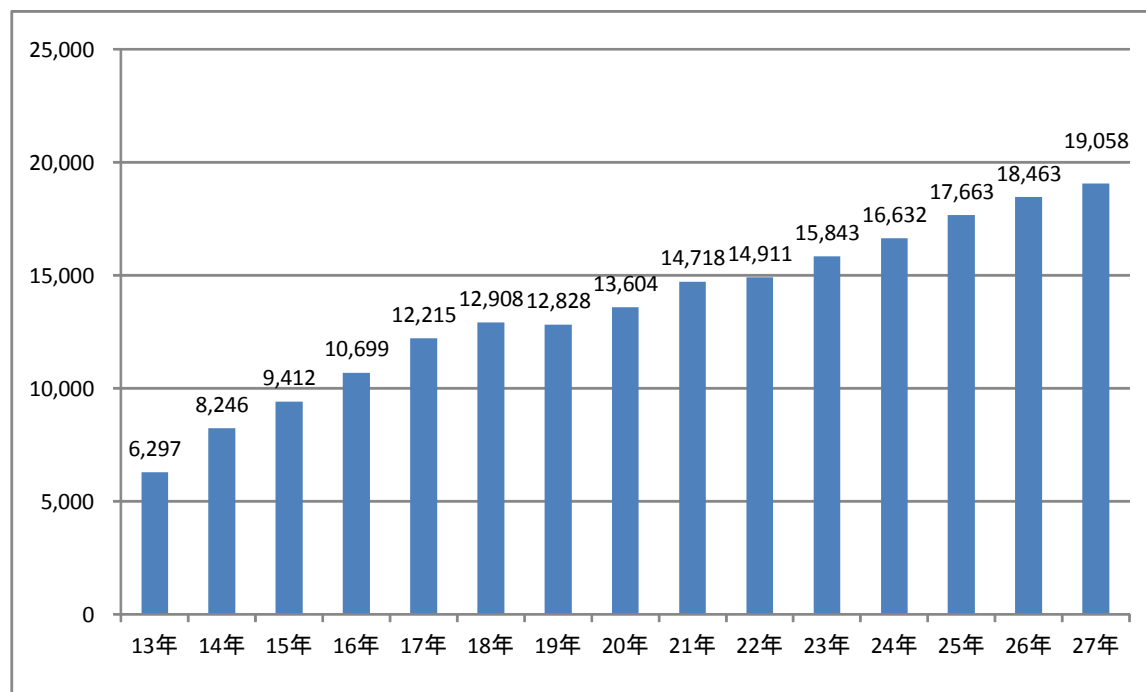
(本文3ページ (2) 経済・産業の現状 参考資料)



(出典：工業統計調査)

【図13：要介護（要支援）認定者数の推移】

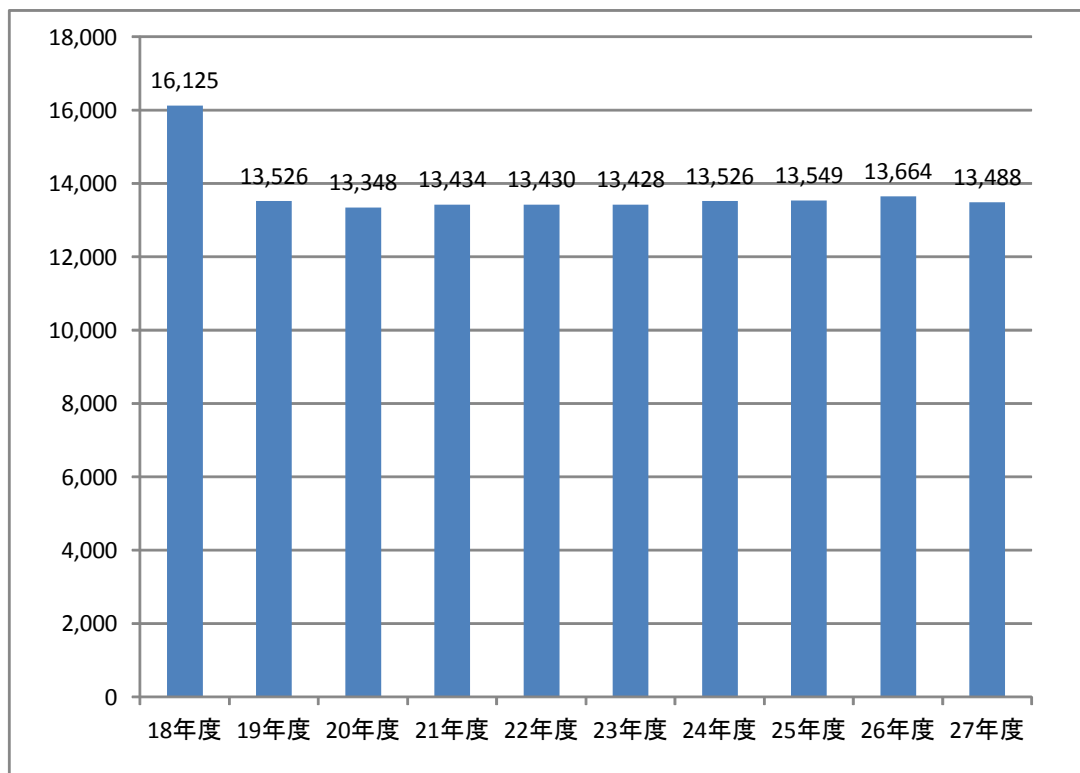
(本文4ページ (3) 市民生活の現状 参考資料)



(出典：第7次函館市高齢者保健福祉計画・第6期函館市介護保険事業計画ほか)

【図14：身体障害者手帳交付者数の推移】

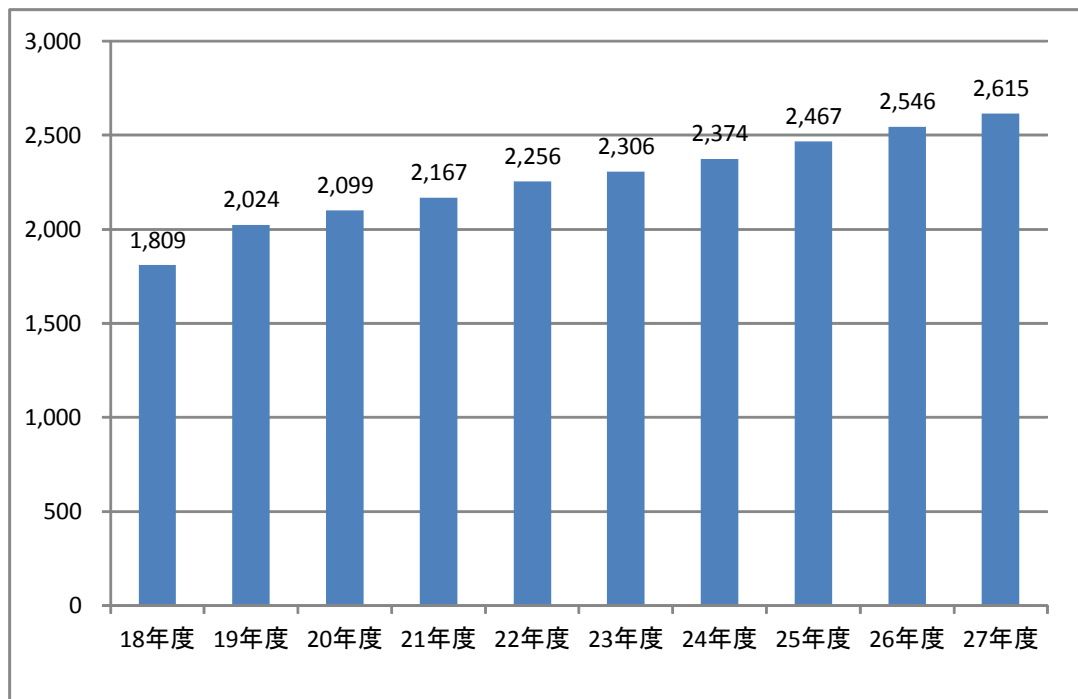
(本文4ページ (3) 市民生活の現状 参考資料)



(出典：第2次函館市障がい者基本計画)

【図15：療育手帳交付者数の推移】

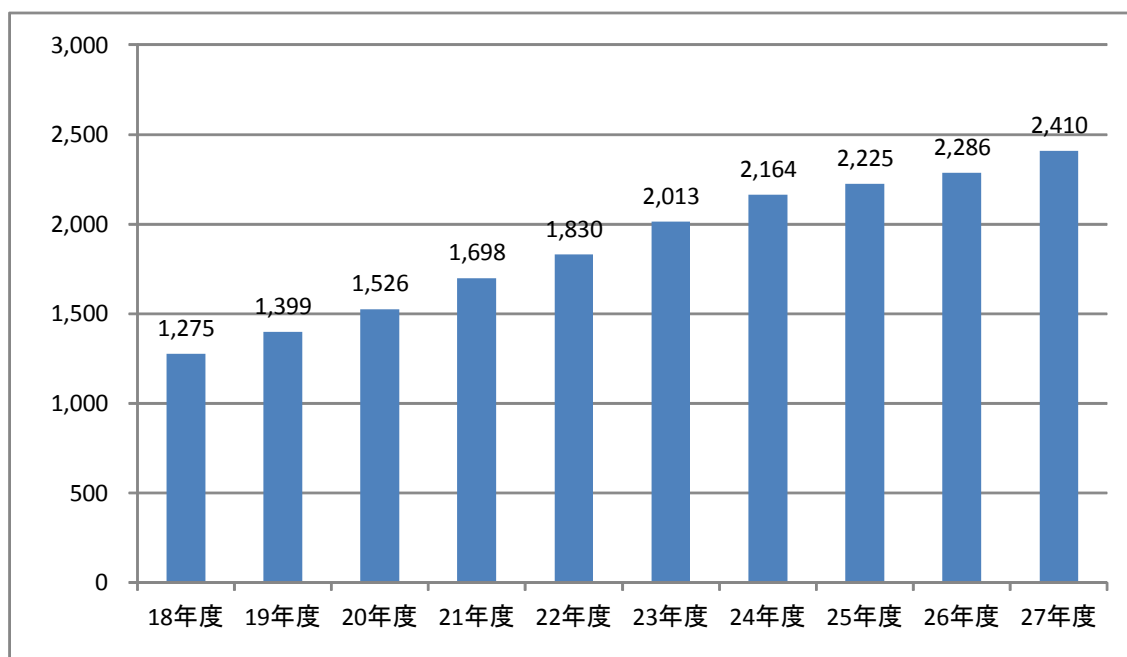
(本文4ページ (3) 市民生活の現状 参考資料)



(出典：第2次函館市障がい者基本計画)

【図16：精神障害者保健福祉手帳交付者数の推移】

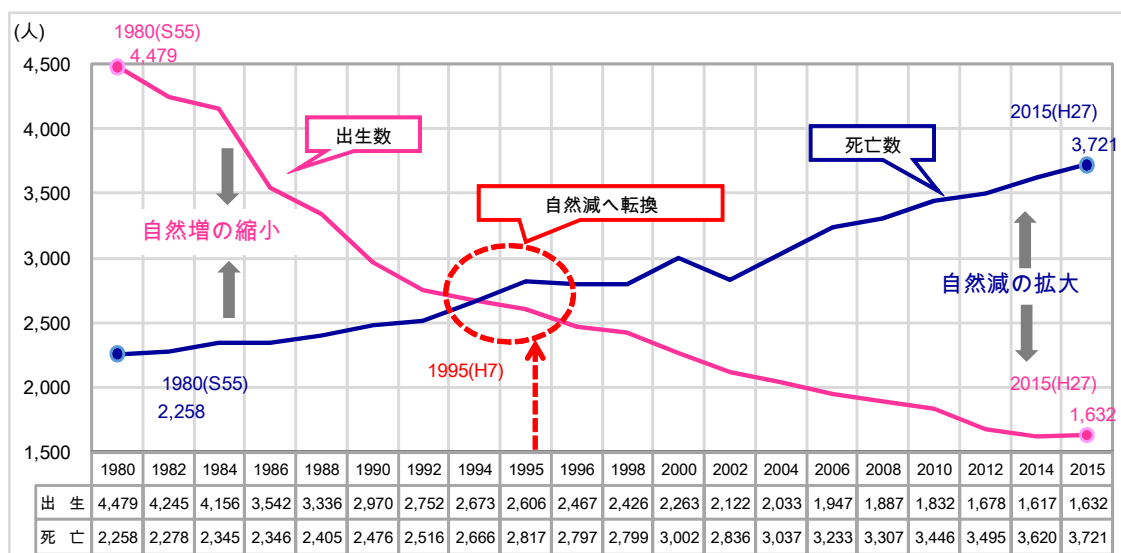
(本文4ページ (3) 市民生活の現状 参考資料)



(出典：第2次函館市障がい者基本計画)

【図17：出生数と死亡数の推移】

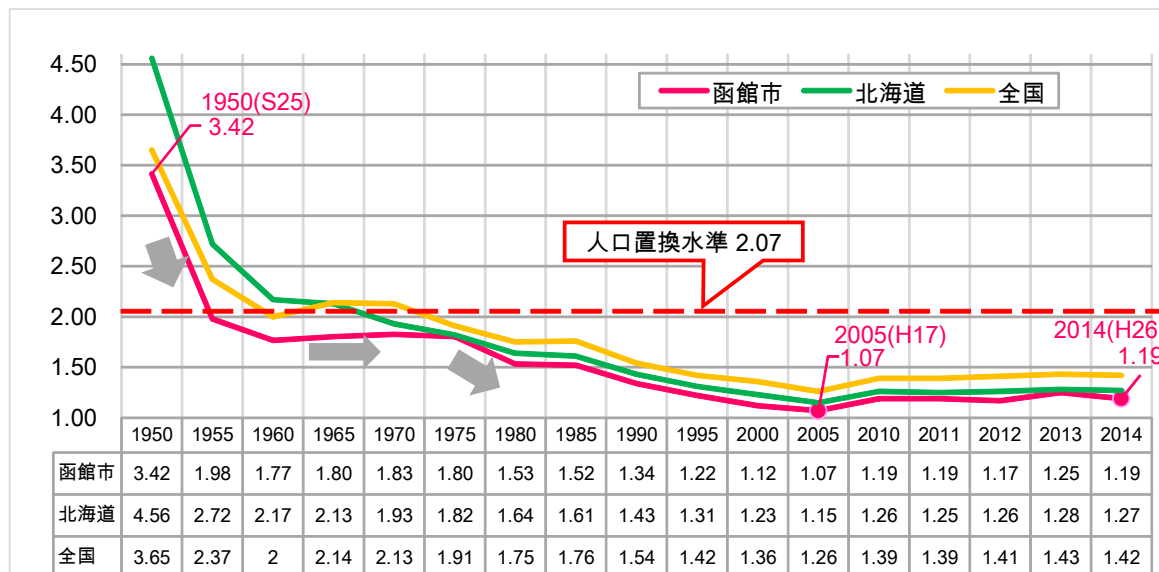
(本文4ページ (3) 市民生活の現状 参考資料)



(出典：函館市人口ビジョン)

【図18：合計特殊出生率の推移】

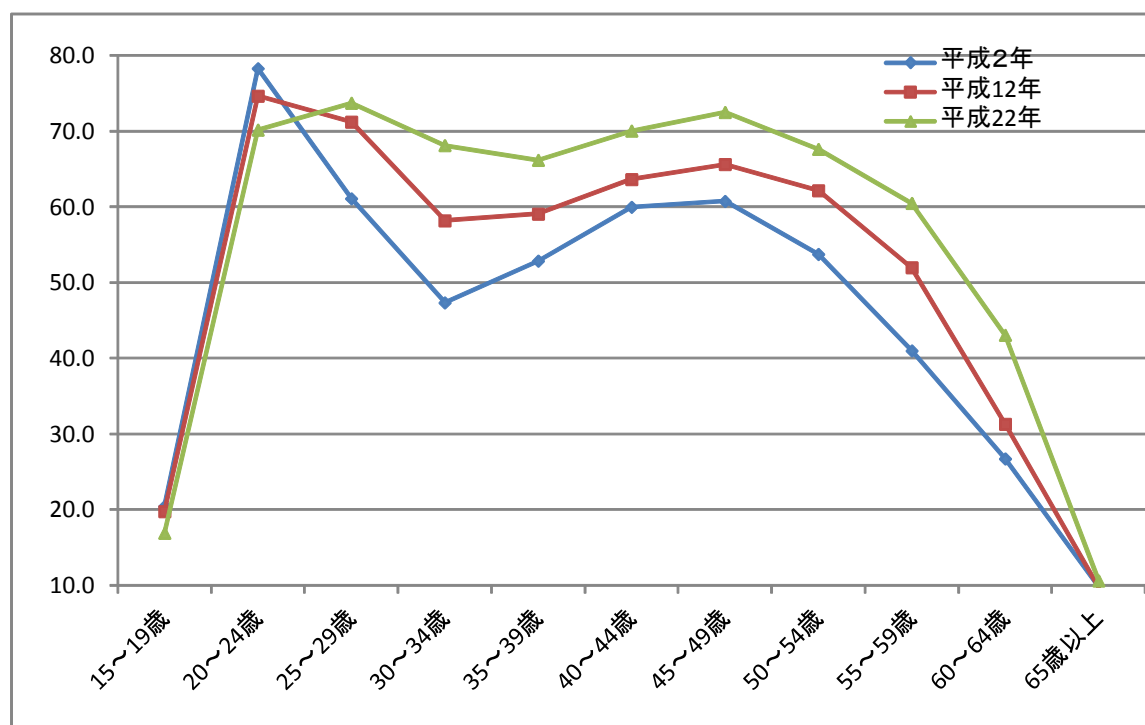
(本文4ページ (3) 市民生活の現状 参考資料)



(出典：函館市人口ビジョン)

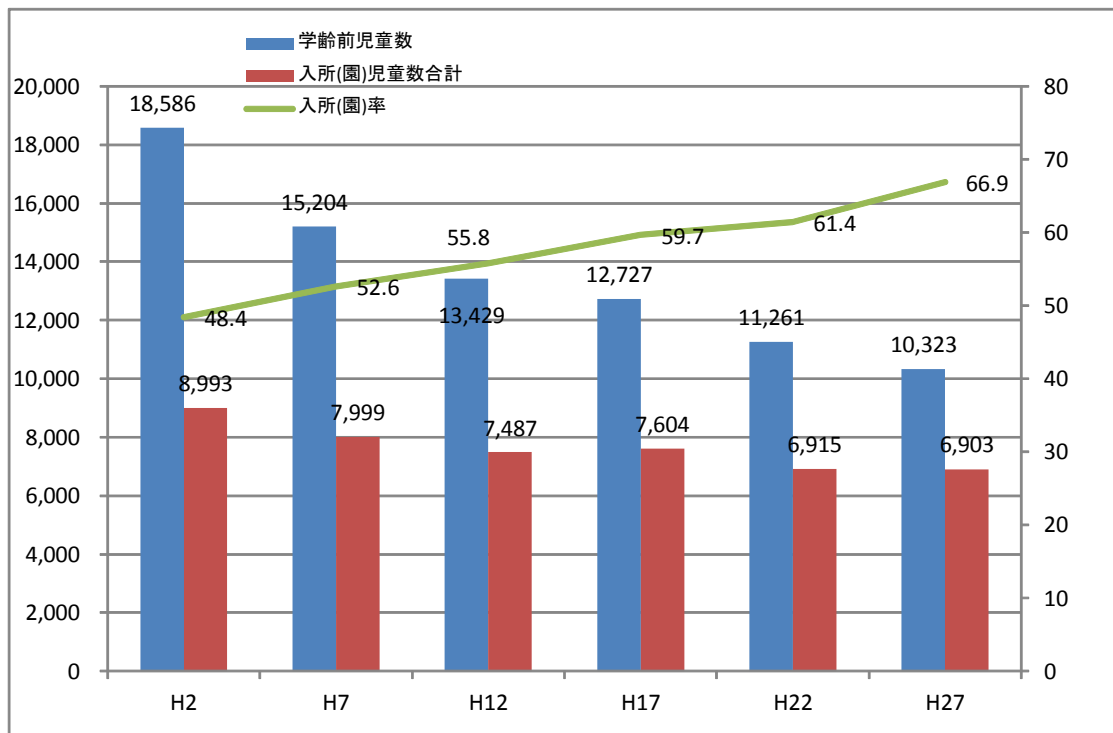
【図19：年齢階級別女性の就業率の推移】

(本文4ページ (3) 市民生活の現状 参考資料)



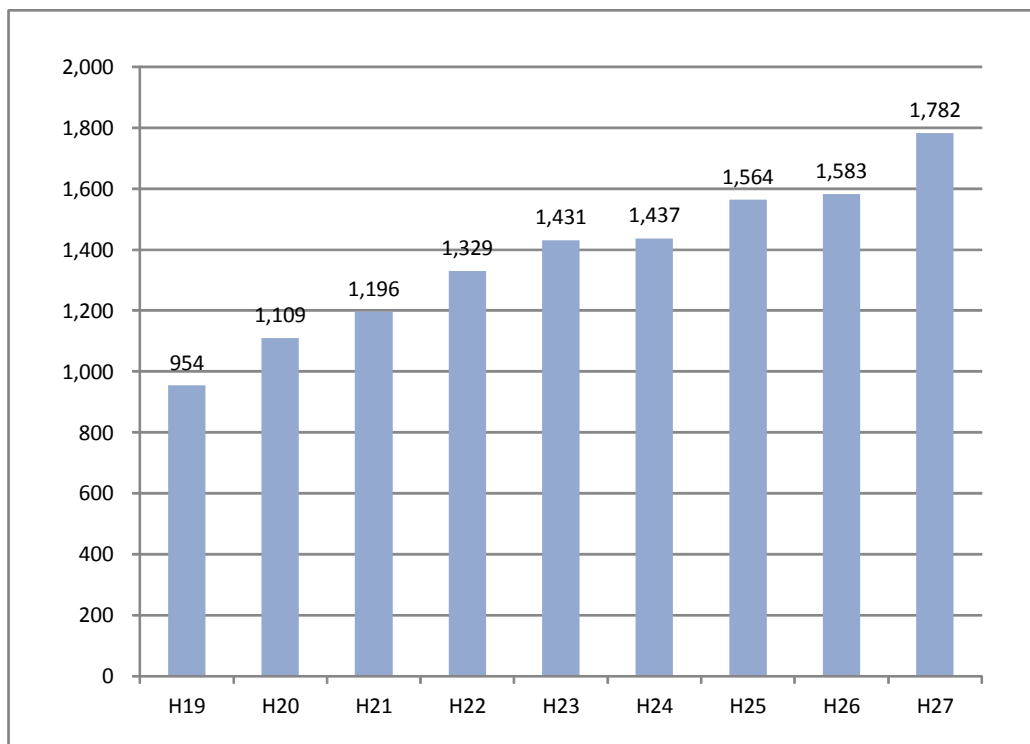
(出典：国勢調査)

【図20：保育所・幼稚園等入所（園）率等の推移】  
 （本文4ページ (3) 市民生活の現状 参考資料）



(出典：子ども未来部の概要)

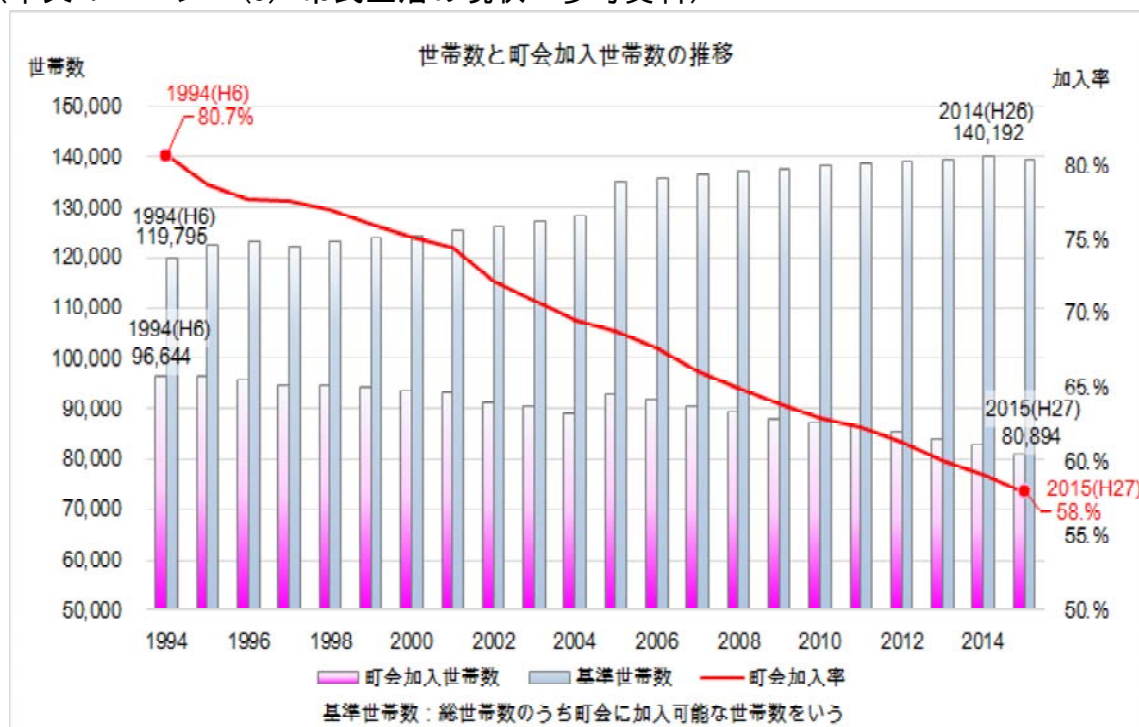
【図21：放課後児童クラブ（学童保育所）利用者数の推移】  
 （本文4ページ (3) 市民生活の現状 参考資料）



(出典：子ども未来部の概要)

【図22：世帯数と町会加入率の推移】

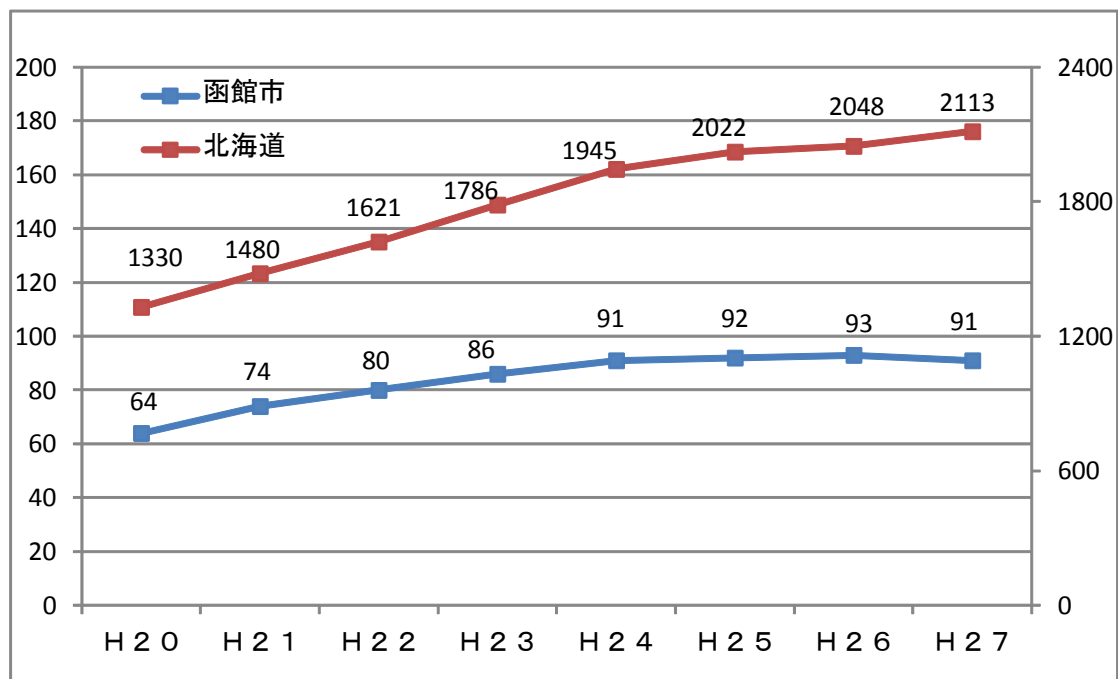
(本文 4 ページ (3) 市民生活の現状 参考資料)



(出典：函館市)

【図23：NPO法人数の推移】

(本文 4 ページ (3) 市民生活の現状 参考資料)

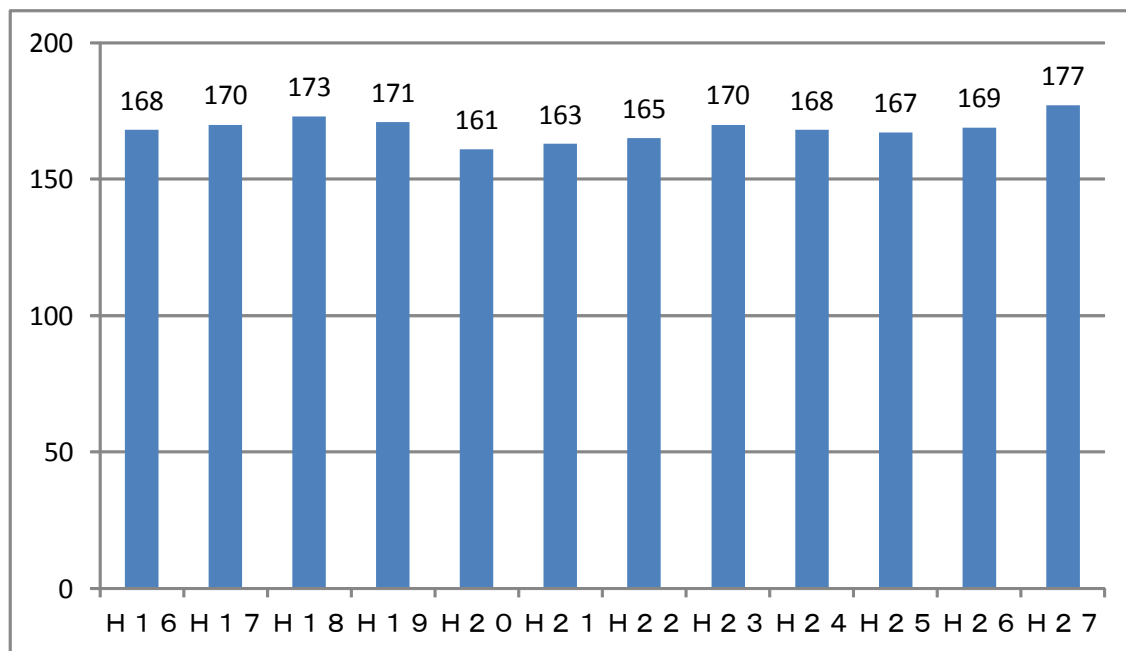


(出典：北海道)



【図24：ボランティアセンターへの団体登録数の推移】

(本文4ページ (3) 市民生活の現状 参考資料)



(出典：函館市地域福祉計画ほか)

【図25：医療施設数, 病床数および人口10万人あたりの率】

(本文4ページ (3) 市民生活の現状 参考資料)

(1) 医療施設数, 率

(平成26年末現在)

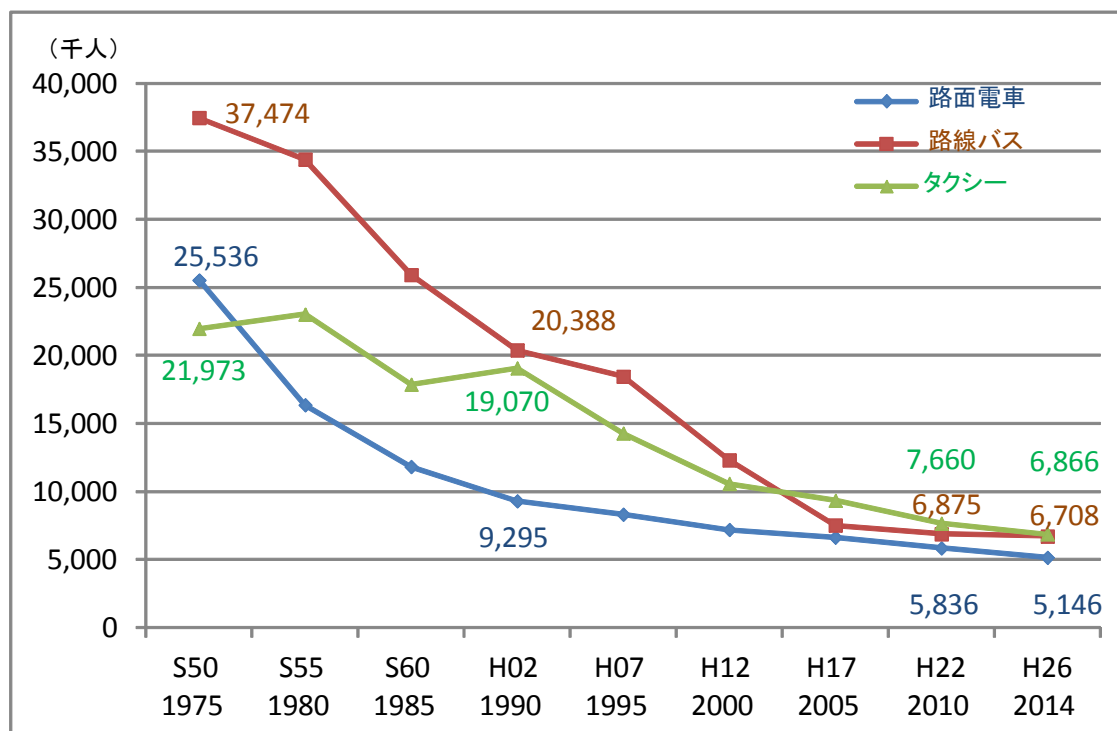
区分	施設数	率 (平成26年10月1日現在)		
		函館市	北海道	全国
病院	29	10.7	10.5	6.7
一般診療所	223	79.8	62.5	79.1
歯科診療所	134	48.5	55.1	54.0
病床・精神病床	1,332	489.7	379.3	266.1
(病院)・結核病床	40	14.7	4.5	4.7
・感染症病床	6	2.2	1.7	1.4
・療養病床	1,014	372.8	419.4	258.2
・一般病床	3,892	1,430.9	983.5	703.6
病床 (一般診療所)	494	182.0	128.7	88.4

資料：当所調べ(施設数) 厚生労働省「平成26年医療施設調査」(率)

(出典：保健所事業概要平成27年版)

【図26：交通機関別利用者数の推移】

(本文4ページ (3) 市民生活の現状 参考資料)



(出典：函館市統計書 (路線バス, タクシー) 函館市企業局事業概要 (路面電車))

